

CASBEE[®] さいたま2016年版 | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEEさいたま2016年版 ■使用評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	学校法人佐藤栄学園法人本部棟建替工事	階数	地上3F
建設地	埼玉県さいたま市大宮区上小町476-1 477-1 480-1 475の一部、478の一部、 479の一部	構造	RC造
用途地域	第一種住居地域、準防火地域	平均居住人員	250人
地域区分	6地域	年間使用時間	1,920時間/年(想定値)
建物用途	事務所	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年6月 予定	評価の実施日	2023年05月16日
敷地面積	2,244 m ²	作成者	
建築面積	930 m ²	確認日	2023年05月30日
延床面積	2,484 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 1.5

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B: ★★★★★ B': ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

標準計算

① 参照値 100%

② 建築物の取組み 76%

③ 上記+②以外の 76%

④ 上記+ 76%

(kg-CO₂/年・m²)

0 46 92 138

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境 (Q1のスコア= 3.2)

音環境	3.6
温熱環境	2.1
光環境	3.9
空気質環境	4.0

Q2 サービス性能 (Q2のスコア= 3.0)

機能性	2.8
耐用性	2.9
対応性	3.4

Q3 室外環境 (敷地内) (Q3のスコア= 2.8)

生物環境	3.0
まちなみ	3.0
地域性	2.5

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー (LR1のスコア= 4.0)

建物外皮の	5.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.3
効率的	3.9

LR2 資源・マテリアル (LR2のスコア= 3.3)

水資源	3.4
非再生材料の	3.4
汚染物質	3.3

LR3 敷地外環境 (LR3のスコア= 3.4)

地球温暖化	3.9
地域環境	3.4
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項

総合	その他
利用者に配慮し、F★★★★を使用している。 ライフサイクルコストの低減に努め、地球環境保護に配慮している。	特になし。
Q1 室内環境 2.5% ≤ [昼光率]。 昼光利用設備が1種類ある。 自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。	Q2 サービス性能 事務室の天井高2.7m以上。 リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上
Q3 室外環境 (敷地内) 特になし。	
LR1 エネルギー BPIm=0.72, BEIm=0.67	LR2 資源・マテリアル LGSとOAフロアを使用している。 ODP=0かつGWPが低い発泡剤 (GWP (100年値) が1以下) を用いた断熱材等を使用している。
	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率が、一般的な建物(参照値)に対して76%。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEEさいたま2016年版
 学校法人住友学園 法人本部 設備管理工務

■使用評価マニュアル CASBEEさいたま2016年版
 ■評価ソフト: CASBEEさいたま2016ver.2.0

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート 実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体
Q1 室内環境					0.40			3.0
1 音環境								3.2
1.1 室内騒音レベル				3.6	0.15			3.6
1.2 遮音				3.0	0.40			
1 開口部遮音性能		開口部遮音性能T-2		4.2	0.40			
2 界壁遮音性能				5.0	0.60			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.40			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		壁、床、天井のうち二面に吸音材を使用している。		4.0	0.20			
2 温熱環境				2.1	0.35			2.1
2.1 室温制御				3.2	0.50			
1 室温				3.0	0.38			
2 外皮性能		窓システムSC:0.43、U=2.84(W/m ² K)程度、外壁その他:U=0.83(W/m ² K)		4.0	0.25			
3 ゾーン別制御性				3.0	0.38			
2.2 湿度制御				1.0	0.20			
2.3 空調方式				1.0	0.30			
3 光・視環境				3.9	0.25			3.9
3.1 昼光利用				4.6	0.30			
1 昼光率		2.5%≦[昼光率]		5.0	0.60			
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		昼光利用設備が1種類ある。		4.0	0.40			
3.2 グレア対策				4.0	0.30			
1 昼光制御		グランドボックス、庇を組み合わせて制御。		4.0	1.00			
3.3 照度		照度が500lx以上1000lx未満。		4.0	0.15			
3.4 照明制御				3.0	0.25			
4 空気質環境				4.0	0.25			4.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50			
1 化学汚染物質		JIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用している。		4.0	1.00			
4.2 換気				3.3	0.30			
1 換気量				3.0	0.33			
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積が居室床面積の1/30以上。		4.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮				3.0	0.33			
4.3 運用管理				5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視								
2 喫煙の制御		ビル全体の禁煙が確認されている。		5.0	1.00			
Q2 サービス性能					0.30			3.0
1 機能性				2.8	0.40			2.8
1.1 機能性・使いやすさ				2.3	0.40			
1 広さ・収納性				3.0	0.33			
2 高度情報通信設備対応				3.0	0.33			
3 バリアフリー計画				1.0	0.33			
1.2 心理性・快適性				3.0	0.30			
1 広さ感・景観		事務室の天井高2.7m以上。		4.0	0.33			
2 リフレッシュスペース		リフレッシュスペースが執務スペースの1%以上		4.0	0.33			
3 内装計画				1.0	0.33			
1.3 維持管理				3.5	0.30			
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		④ 衛生面からモップ、ウェスを洗濯・乾燥させるスペースを計画している。 ⑤ 廃棄物・リサイクル・粗大ゴミのスペースを建物の延床面積に対し、十分に確保しており、かつ、搬出が容易な計画となっている。		4.0	0.50			
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30			2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50			
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80			
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30			
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20			
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20			
2.4 信頼性				2.8	0.20			
1 空調・換気設備				3.0	0.20			
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20			
3 電気設備				3.0	0.20			
4 機械・配管支持方法				3.0	0.20			
5 通信・情報設備				2.0	0.20			

3 対応性・更新性						3.4			3.4
3.1 空間のゆとり						4.6	0.30		
1 階高のゆとり		階高3.600 m _n			5.0	0.60			
2 空間の形状・自由さ		0.1 ≤ [壁長さ比率] < 0.3			(4.0)	0.40			
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.30			
3.3 設備の更新性					3.0	0.40			
1 空調設備の更新性					3.0	0.20			
2 給排水管の更新性					3.0	0.20			
3 電気配線の更新性					3.0	0.10			
4 通信配線の更新性					3.0	0.10			
5 設備機器の更新性					3.0	0.20			
6 パワテック・スマートの確保					3.0	0.20			
Q3 室外環境(敷地内)						0.30			2.8
1 生物環境の保全と創出					3.0	0.30			3.0
2 多様な・量種への配慮					3.0	0.40			3.0
3 地域性・デザインへの配慮					2.5	0.30			2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上					2.0	0.50			
3.2 敷地内気候環境の向上					3.0	0.50			
LR1 エネルギー						0.40			3.0
1 建築物外皮の熱負荷抑制		B _{10m-0.72}			5.0	0.20			4.0
2 自然エネルギー利用					3.0	0.10			3.0
3 設備システムの高効率化		[BEU(BEM)] = 0.07			4.3	0.50			4.3
4 効率的運用					3.0	0.20			3.0
集合住宅以外の評価					3.0	1.00			
4.1 モニタリング					3.0	0.50			
4.2 運用管理体制					3.0	0.50			
4.1 モニタリング									
4.2 運用管理体制									
LR2 資源・マテリアル						0.30			3.3
1 木質資源確保					3.4	0.20			3.4
1.1 節水					4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用		節水コマなどに加えて、省水型便器(節水型便器など)などを用いている。			3.0	0.60			
1 雨水利用システム導入の有無					3.0	0.70			
2 雑排水等利用システム導入の有無					3.0	0.30			
2 非汚生性質資源の使用量削減					3.4	0.60			3.4
2.1 材料使用量の削減					2.0	0.10			
2.2 既存建築躯体等の躯体使用					3.0	0.20			
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用					3.0	0.20			
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床下バルコニー・エレベータ			(4.0)	0.20			
2.5 持続可能な森林から産出された木材					2.0	0.10			
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		LOS-GOALプロトを使用している。			(5.0)	0.20			
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.3	0.20			3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.30			
3.2 フロン・ハロンの回避					3.5	0.70			
1 消火剤									
2 発泡剤(断熱材等)		GDP = 0かつGWPが低い発泡剤(GWP(100年値)が1以下)を用いた断熱材等を使用している。			4.0	0.50			
3 冷蔵					3.0	0.50			
LR3 敷地外環境						0.30			3.4
1 地球温暖化への配慮					(3.9)	0.33			3.9
2 地域環境への配慮					3.4	0.33			3.4
2.1 大気汚染防止					6.0	0.25			
2.2 気候環境悪化の改善					3.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.7	0.25			
1 雨水排水負荷低減					3.0	0.25			
2 汚水処理負荷抑制					3.0	0.25			
3 交通負荷抑制					3.0	0.25			
4 廃棄物処理負荷抑制					2.0	0.25			
3 周辺環境への配慮					3.0	0.33			3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40			
1 騒音					3.0	1.00			
2 振動									
3 悪臭									
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制					3.0	0.40			
1 風害の抑制					3.0	0.70			
2 砂塵の抑制					3.0				
3 日照障害の抑制					3.0	0.30			
3.3 光害の抑制					3.0	0.20			
1 昼間照明の照射抑制		昼間照明の照射抑制(20%削減)を実施している。			3.0	0.70			
2 夜間の照明抑制		夜間の照明抑制(70%)を実施している。			3.0	0.30			